

出演者のプロフィール

玉岡 かおる (小説家)

TAMAOKA·KAORU

兵庫県三木市生まれ。神戸女学院大学卒。1989年、神戸文学賞受賞の「夢食い魚のブルー・グッドバイ」で文壇デビュー。多数の著書の中、「天涯の船」、「お家さん」、「銀のみち一絆」は「明治三部作」として有名。話題作の「お家さん」は、第25回織田作之助賞受賞。近著に「ひごえに咲く」、「虹、つどうべし」がある。兵庫県教育委員、(公社)日本河川協会理事など行政の委員も務めている。テレビ・ラジオのコメンテーターとしても活躍。00年、加古川市特別文化賞、06年、兵庫県文化賞受賞。産経新聞「夕焼けエッセー」の審査員を務める。2子あり。

住田 裕子氏 (弁護士)

SUMITA·HIROKO

兵庫県加古川市生まれ。東京大学法学部卒。1979年東京地検検事に任官し、以後、大阪等各地の地検検事として転勤を重ね、1987年に女性初の法務省民事局付検事として民法・国際私法等の改正を担当。1990年に全省府女性初の法務大臣秘書官に就任。その後、司法研修所教官等を経て、平成8年弁護士登録し、さまざまな公職や獨協大学特任教授などを歴任。現在、NPO法人長寿安心会の代表理事として長寿社会の安全安心な社会づくりと東日本大震災の復興支援のために奮闘中。「住田裕子の老後安心相談所」「住田裕子の離婚相談所」などの著書・論文多数、テレビでも活躍。同業の夫との間に2子あり。

木野 稔 (中野こども病院理事長・院長)

KINO·MINORU

1977年、関西医科大学卒、関西医科大学小児科学教室入局。82年、関西医科大学大学院医学研究科修了(医学博士)。同大助手を経て85年まで米国ニュージャージー州立医科歯科大学留学(米国腎臓財団フェロー)。94年、関西医科大学小児科学講座講師。98年、社会医療法人真美会中野こども病院副院長を経て、00年、院長就任。09年、理事長。(一社)日本小児科医会副会長、(一社)大阪小児科医会参与、(一社)全国病児保育協議会常任理事など多くの公職を務める。

水谷 翔太 (大阪市天王寺区長)

MIZUTANI·SYOUTA

早稲田大学政治経済学部政治学科卒、日本放送協会(NHK)報道記者を経て2012年8月、大阪市・橋下徹市長から全国史上最年少区長(当時27歳)として、天王寺区長に任命される。現在は「個別対話型意見集約」、「中高生インターンシップ」、「即興型英語ディベートスクール」、「子育てスタート応援券」など全国でも珍しい新規事業の立案に重点的に取り組む。まもなく1歳になる子あり。

尾崎 真理子 (大阪府女医会評議員・小児科医師)

OZAKI·MARIKO

1978年鳥取大学医学部卒。岡山大学小児科、大阪市立大学小児科、大阪市立母子センター、大阪市立北市民病院勤務を経て、1993年より医療法人尾崎医院理事。一般小児科医。2007年より子育て支援つどいの広場きらりっこ開設。2013年、NPO法人きらりっこ理事長。2008年より病児保育室「ウルル」開設担当 理事を務めている。

石野 伸子 (産経新聞社編集委員)

ISHINO·NOBUKO

産経新聞特別記者兼編集委員。生活面記者として長らく大阪の衣食住を取り材。生活実感にもとづき自分の足と感性で発見したホンネコラムをつくるのを信条としている。現在、「浪花ぐらし」、「なんて素晴らしい人生」など連載中。

小川 真由 (ラジオ大阪 アナウンサー)

OGAWA·MAYU

ラジオ大阪アナウンサー。ラジオ大阪の情報・報道番組「News Tonight いいおとな」の4代目ナビゲーターを担当している。

病児保育を考えるフォーラム 参加申込書 送信先

「病児保育を考える」
フォーラム事務局

FAX 06-6633-2709
Eメール forum@esankei.com

お名前	(年)
ご住所 (参加証送り先)	〒
連絡先	TEL.
参加人数	名 (ご本人を含む)
預かり保育の ご希望	有 (人) • 無

※先着順のため、お預かり可能かどうかを事務局からご連絡いたします。

※定員400名、先着順で定員になり次第締め切ります。後日、参加証をお送りします。